

議会だより

No.67

平成29年8月

のせ



次代を担う能勢こども浄瑠璃

一般質問:8人の議員が町政を問う

定例会議で農業委員13人の任命同意

岐阜県恵那市議会が行政視察

平成29年能勢町議会6月定例会議報告

6月定例会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

請願第1号 能勢町から最寄りにある二次救急医療機関「市立川西病院」の存続について、能勢町は、川西市との話し合いを持つ事を求める請願書 不採択

賛 否

西河 巧	森田則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西則宏	長尾義信	中西顕治	奥 久明	長尾義和
×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×

議会議案第3号 「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議 原案可決

賛 否

西河 巧	森田則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西則宏	長尾義信	中西顕治	奥 久明	長尾義和
○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○

以下の案件は、全員賛成により可決・適任とされました。

- | | | |
|--------|---------------------------------|---------|
| 議案第32号 | 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について | |
| 議案第33号 | 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について | |
| 議案第34号 | 能勢町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について | |
| 議案第35号 | 平成29年度能勢町一般会計補正予算（第1号） | |
| | ・ 町道整備工事（平野線） | 800万円 |
| | ・ 豊能郡環境施設組合負担金 | 256万円 |
| | ・ 通学バス乗降表示灯購入費 | 215万円 |
| 議案第36号 | 平成29年度能勢町水道事業会計補正予算（第1号） | |
| 議案第37号 | 動産の買入れについて | |
| | ・ 高規格救急車購入 | 3024万円 |
| 議案第38号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 徳谷 重信氏 |
| 議案第39号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 福中 繁信氏 |
| 議案第40号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 龍見 敬明氏 |
| 議案第41号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 福井 明房氏 |
| 議案第42号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 原田 富生氏 |
| 議案第43号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 大上 弦氏 |
| 議案第44号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 中本 正明氏 |
| 議案第45号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 前田 宗良氏 |
| 議案第46号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 大植 元信氏 |
| 議案第47号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 吉村 次郎氏 |
| 議案第48号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 藤井 憲司氏 |
| 議案第49号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 芝 久雄氏 |
| 議案第50号 | 能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 大平 喜代江氏 |
| 議案第51号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて | 福西 正明氏 |

注：議長は、採決に加わりません。

能勢町から最寄りにある二次救急医療機関「市立川西病院」の存続について、能勢町は、川西市と話し合いを持つ事を求める請願書（2025年）

主旨

私たちは、能勢町住民の生命と健康を守る上で、本町から10km圏内にあり、住民も多く利用している「市立川西病院」が移転し、猪名川流域北部地帯に二次救急医療機関の空白地帯を作る事に、大きな懸念を感じています。能勢町が川西市と話し合いを持つ事を請願します。

反対討論

長尾 義和

この請願書の趣旨から考えると、「市立川西病院」が仮に川西市の中心部に移転したとしても、二次救急医療機関の空白地帯を作るとは言えない。

また、より高度な二次救急医療については、ドクターヘリの活用により搬送されることになり、救急医療は充実してきた。

豊能圏域医療の在り方、このことは能勢町だけでなく豊能町や猪名川町を含めたなかでの議論が重要である。1市3町の協議会もあり、議論も十分できる。

このようなかで、今回、請願書が提出されたのは能勢町だけであり、周辺自治体とも連携を図るべきであったと考える。

反対討論

大西 則宏

請願権は、日本国憲法第16条で保障された国民の基本的権利であり、請願の採択に当たっては「願意が妥当であるか」「実現の可能性があるか」「当該自治体及び議会の権限に属する事項であるか」が、その判断基準とされている。

本請願については、能勢町及び能勢町議会の権限に属さない事項であることから、不採択にするほかに、と考えるものである。

賛成討論

中西 顕治

本町住民の依存度が比較的高い「市立川西病院」の改革案が、どのような影響を及ぼすかの分析は早急に行政が行うべきものと考える。能勢町として「住民の健康、命を守ることをどう実現していくのか示さなければならぬ。

この請願が求めるように、川西市の計画について正確に聞き取り、分析の材料を広く住民と共有することが必要だと考える。

請願が求める「話し合い」をステップに救急、医療需要、介護需要のあるべき姿を示すことを加えて要望し、この請願に賛成する。

賛成討論

大平 喜代江

「大阪府地域医療構想（平成28年3月）」には、4市2町の豊能構想区域は、大規模病院が多く比較的医療資源に恵まれた区域であるが、4市に偏在、北部の能勢町、豊能町では区域内の在宅医療を含む医療資源や医療機関への利便性が異なり、市町間の医療需要量の幅が大きいため、地域特性を踏まえて近隣市町、構想区域外の医療機関等広域での医療資源確保や多職種連携による医療提供体制構築の必要性を示している。病院がなく隣接する他市病院への医療依存が高い本町ゆえに、川西市の構想を踏まえ、本町の医療のあり方を考えていただきたい。

「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議について

主旨

国際博覧会は、人類が抱える地球規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集めることで、解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。能勢町議会としても、大阪での開催の意義に賛同するものである。

反対討論

中西 顕治

万国博覧会の持つ産業や技術を教育的に広げる理念そのものに反対するものではないが、開催地を夢洲とし、夢洲で計画されているカジノを含む統合型リゾートの促進の為に利用されている点は教育的という理念から逸脱している。また、特殊な産業廃棄物を管理する機能をもった夢洲は土壌汚染の懸念があり、交通アクセスや地震等の災害への備えが脆弱である点も含め、誘致場所を確定したうえでの誘致決議に反対する。

反対討論

伊木 真由子

万博自体に反対をしているわけではないが、健康をつたう万博とカジノをセットで誘致しようとしている点で、この決議案に反対する。

賛成討論

岡本 ひとし

さまざまな問題や課題が山積しているが、大阪の地盤沈下、活力を取り戻すためにも万国博覧会の誘致に関する決議に賛成する。しかし、IRなどの問題は法整備も必要です。大阪が元気になるためにも国際博覧会の誘致は必要と考える。

一般質問

町民の声を代表して 8人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。今回の議会では、8人の議員が、皆さんの声を代表して質問をしました。

一般質問



岡本 ひとし

はたらき方改革

問 職員及び教職員の労働時間について伺う。

答 職員の労働時間は、週38時間45分を基本としている。教職員の1日当たり平均10時間10分程度となる。

問 超過勤務の現状について伺う。

答 職員の時間外労働の月平均は12時間です。教職員の超過勤務は月平均49時間弱となっている。

問 教職員の時間外労働の多さが社会問題となっているが確認する。

答 一部の教職員の超過勤務は認識している。ゆとり週間の設置・有給休暇の活用を学校現場に指導する。

生活環境の整備

問 東地域の生活排水処理について認識を伺う。

答 農業集落排水事業の着手が困難であり、浄化槽設置整備事業を導入し、生活排水や水環境保全の向上を図っていきたい。

問 東地域の合併浄化槽未設置数を確認する。

答 約386件です。

問 年間補助対象件数の想定は。

答 20件程度の想定

問 市町村設置型の合併浄化槽を考えてみてはどうか。

答 市町村設置型の事業もあると認識しているが、現在のところ考えていない。

未利用施設の維持管理

問 学校跡地や施設の活用について伺う。

答 旧歌垣小学校は東地域の公共施設の拠点として再編整備を検討する。

問 旧歌垣小学校を東地域の拠点となるように地域とともに議論してはどうか？

答 同様の考え方であり、ともに頑張りたいと思っている。

問 地域・行政職員・議員などプロジェクト検討会を立ち上げてはどうか。

答 ぜひともリーダーシップを取っていただきたい。



伊木 真由子

高齢者の移動支援

問 移動支援の充実について多くの意見を聞いているが、公共交通空白地有償運送・福祉有償運送を利用する人は、昨年度は最大利用時の半分程度になっている。本当の問題は移動支援ではなく、いろいろな交通機関を使ってまで出掛けたい所がないことではないか。目的となる生きがいづくりの場を考えることが必要だ。

答 生きがいづくりを含め、旧校区単位での協議会の設置を考えている。

一、高齢者の移動支援
二、残土投棄問題

残土投棄問題

問 宿野北区・野間峠の中腹に土地改良の名目で建設残土等が用いられている事態が見られる。宿野北区の残土は、廃棄物も混入しており大阪府から指導を受けている。今回両方の現場は同じ事業者であることがはっきりした。今後本町が残土投棄の名目で廃棄物の捨て場になることが懸念される。規制条例など何らかの対策が必要ではないか。

答 豊能町では崩落事故により条例制定している。本町でもどういふうにしていくべきか継続し検討していく。

問 宿野北区の住民は汚染土壌による健康被害など不安に思っている人もいる。環境調査を希望した場合、助成金など考えられないか。

答 心配されている住民がいる場合は、町も間に入って調整し、検査できる方向に持っていく。

公共交通空白地有償運送
福祉有償運送利用合計者数

	利用者数
平成23年度	3162人
平成28年度	1176人

一般質問



長尾 義信

地域担当職員制度の進捗よく状況

問 12月からスタートし、職員17名が5地区に配置された。地域との架け橋である地域担当職員制度の進捗よく状況を問う。

答 これまで20件程度の問い合わせをいただいている。地域の区長会に出向くなど、地域課題等について気軽に相談いただけるよう、関係づくりに努めている。

地域全体で支え合う
まちづくりの実現を!!

児童生徒の通学路等の安全対策

問 バイパス、信号機移設等の工事完了に伴う、児童生徒の通学路変更など安全確保、安全対策強化を問う。



答 通学変更については、当該地域の保護者、PTAの地域安全委員の方々に協議いただき決定した。また、今後も保護者、ボランティアの皆さんに協力いただき、警察、学校、教育委員会とともに見守り活動を行っていく。

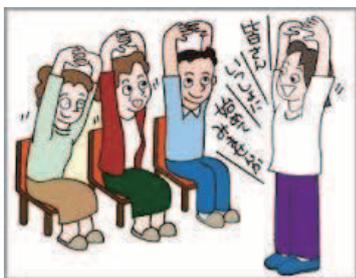
健康寿命延伸の取組み

問 平均寿命から健康寿命延伸に向けての取組み、方向性を問う。

答 医療と介護予防の両面から進めることが必要であり、いきいき百歳体操や食生活の見直し教室などを実施している。自分の健康は自分で守る健康思想を普及、啓発にも力を入れていく。



児童・生徒の安全確保のため時間帯の通行規制等検討すべきである。





平田 要

元氣・交流・活力を取り戻し、
いつまでも住み続けたい
安心・安全なまちづくり

安心して子育てと就労
ができる環境づくり

問 旧歌垣小学校施設を
活用した子育てサポート

ステーションなどの多機
能型施設計画の中に0歳
から3歳未満を保育でき
る小規模保育施設の考え
を問う。

答 昨年度策定した、能
勢町公共施設等総合管理
計画等も踏まえ、東地域
の福祉拠点として多機能
型の地域コミュニティ
拠点として行政サービス
提供を考えている。小規
模保育施設機能等の子育
て支援機能についても併
せて検討しているところ
である。

防災拠点・地域活性化
の拠点整備

問 旧小・中学校のセキ
ユリティーと除草につい
て問う。

答 昨年度以降、施設管
理を中心に実施してきた
が、侵入事案や窓ガラス
の破損が見えられたこと
から、豊能署等と協議し
巡回強化等を依頼したう
えで、利用上の諸注意や
立ち入り禁止を明示する
看板、バリケードの設置
を行っている。除草につ
いては、夏、秋の2回程
度の除草作業の実施計画
をしているところである。

問 学校跡地について、
地域の要望を計画に活か
されたいが、どのように
進めていくのかを問う。

従来からの一般利用
を図りつつ、耐震を満た
す体育館は有事における
要望した。

避難所としての役割を担
うところである。今後の
活用については各校区毎
に様々な意見、要望等を
いただいているが、改め
て、各旧校区の区長会に
担当課職員を伺わせ要望
や課題を聞き今後協議を
進めていくところである。

問 能勢けやきの里への
観光案内所サテライト施
設の整備について問う。

答 現在設計業務に着手
し、建設工事費について
は今年度補正予算で対応
し、今年度末の竣工をめ
ざし、事業進ちよくを図
っているところである。

問 その他、豊中高校能勢
分校（志願者を増やすた
めの大阪府への働きかけ
・町の支援等）について
要望した。

その他、豊中高校能勢
分校（志願者を増やすた
めの大阪府への働きかけ
・町の支援等）について
要望した。

一般質問



森田 則子

高齢者が生き生きと
暮らせるまちづくり

問 高齢者の健康増進の
ため、「いきいき百歳体
操」「ウォーキング講座」
に加え、高齢者のコミュ
ニティづくりは、どう取
り組んでおられるのか。

答 高齢者だけでなく障
がい者・子どもも含めた居
場所づくり（コミュニティ）
のための協議体を、設置
検討していきたい。

問 車いすの貸し出し
を、東地域の方にも借り
やすくするために「住民
サービスセンター」でも
行っはどうか。



社会福祉協議会と調
整していきたい。

一、高齢化のための健康長寿社会
二、証明書発行サービスの向上

問 公共施設のトイレの
洋式化を進め、高齢者が、
使用しやすいトイレに改
修してほしい。

答 現施設の洋式率は約
50%。今後順次改善して
いきたい。浄るりシア
ターは、早急に行う。

問 病気の早期発見・早
期治療のため、住民健診
の受診率アップの取り組
み状況と近隣地域との足
並みを揃えるため、受診
料の無料化を求める。

答 住民健診の受診率ア
ップのため、電話勧奨・
巡回・健康相談事業等こ
れから取組み、受診を勧
奨していく。また平成30
年度から国保の広域化に
伴い、自己負担額が無料
になる予定である。

パスポートの申請



問 7月3日から豊能町
がパスポート申請を池田
市で実施される事に伴
い、本町も池田市に申請
業務を委託してはどう
か。

答 パスポート申請は、
権限委譲により府内の市
町村30余りが、各自市で
また近隣地域で事務委託
をすでに行っている。
本町は、費用対効果を
考慮し、豊能町の状況を
詳しく見て状況を把握し
判断していきたい。



中西 頌 治

小中学校教員の勤務実態

一、小中学校教員の勤務実態
二、介護保険事業の方向性

トレスチェック制度を導入している。

問 教職員の総数が50名を超える規模の学校と

なっているなかで、労働安全衛生法上の対応も求められているのではない

答 小中学校は各々49人以下の事業所であるの

で、養護教諭を衛生推進者として選任している。

勤務の状況を見て、校長のヒアリングも行い、医者への受診を勧めることも行っている。今後もそういう対応を行う。

介護保険事業の方向性

問 地域包括支援センターの運営を直営から委託

にする検討をされていると聞く。要因、課題は何か。

答 地域共生社会の中核を担うにふさわしい能力

町社会福祉協議会とメリット、デメリット等、課題も含めて協議、調整を行っている。

委託化によるメリットが最大限発揮できることを念頭に、協議、調整をしている。

住民にとってより良い施策となるように、メリット・デメリットを明確にし、拙速な委託ではなく、直営での運営も含めた議論をする必要があると考える。



一般質問



大平 喜代江

自主防災組織化

一、地域防災力の向上
～自主防災組織をつくらう～
二、住民の食育、居場所づくりの勧め

問 自主防災組織化の現状と認識について

答 規約を設け避難訓練を実施している自主防災組織は、1地区のみで組織率は約2%である。

組織化遅れの要因は、以前から各区がその役目を担っており、改めて組織化する必要がないと考えられているためである。

問 地域防災力強化について

答 自発的な防災組織の組織化、避難訓練などの活動を行うことが大事で、連絡網や地域のハザードマップの作成、隣近所の方とふだんから密接な関係を築き、有事に助け合える体制づくりなどが必要である。



問 求められる自主防災組織について

答 本町では各区が各区なり、消防団なり、色々なところで自主防災組織的な活動や役目を担っている。ただ、自主防災組織は、組織である以上、活動を開始する上でまず規約が必要な組織であり、組織の目的とか役員、リーダー、活動内容等について、定めていただきたい。国のほうから指導も入っている。

食育、居場所づくり



問 食育推進について

答 健全な食生活を営むことは全ての人にとって将来にわたり、健康で心豊かに生活する上で必要不可欠なことである。本町食育・食農推進計画では、健全な食生活、生活習慣の推進、食を通じた豊かな人間形成、マナーや食文化の継承、地産地消の推進の3つの基本目標を掲げ、事業の展開を図る。



西河 巧

農業振興と町の活性化

問 能勢町における、農業の現状と今後の展望について問う。

答 近年、コメの作付面積は500ha前後で推移しており、また、野菜類の生産高については、本町の特色でもある少量多品目栽培であることから個別農産物の生産高を掌握することは困難である。今後も少量多品目栽培を継承しつつ、四季を通じた新鮮な野菜が提供できるよう努めていく。

問 農家の高齢化や後継者不足の現状を踏まえ、今後就農人口の増加や人材育成など、本町の取り組みについて問う。

答 農地利用集積円滑化事業の活用により、規模拡大意欲のある農業経営体への農地利用集積の促進及び、農業経営力強化につながるよう関係機関と連携を図り、農業経営者を増やす取り組みを進めていく。

問 シカやイノシシなどによる被害が拡大しているが、本町の取り組みについて問う。



答 本町の農業振興上、最も重要な課題であると認識しており、平成28年度には、農地と隣接する林縁部の刈り払いを行う緩衝帯整備事業を野間稲地、柏原の2地区で実施し、電気柵など合わせて約20haの農地を守るための資材補助を行った。有害鳥獣捕獲事業では、シカ125頭、イノシシ89頭の捕獲を実施した。



能勢町議会の日程に関するお知らせ

能勢町議会は、「能勢町議会の会期等に関する条例」を制定し、臨時的な開催を除き年間を通じ下記の日程で開催されます。

3月定例会議	3月4日及び同日以降の同月内における議長が別に定める日
6月定例会議	6月15日及び同日以降の同月内における議長が別に定める日
9月定例会議	9月10日及び同日以降の同月内における議長が別に定める日
12月定例会議	12月10日及び同日以降の同月内における議長が別に定める日

※上記定例日の初日が土日祝にあたる場合は、当該定例日以後の最初の開庁日から開催されます。

能勢町議会は、地方分権と地方自治の時代にふさわしい町民に身近な議会及び能勢町議会議員の活動の活性化と充実をめざし、議会が町民の信託に的確に応え、町民全体の福祉の向上及び町政の発展に寄与するため、一丸となり取り組みます。

ぜひとも、お気軽に傍聴にお越しください。

用語説明

請願：住民や団体が議会に対して、町や国・府の業務に関する希望を文書で述べることです。請願書の提出には、その趣旨に賛同する紹介議員1名以上の署名が必要となります。受理された請願書は、議会において審議され採択又は不採択の決定がされます。

豊能郡環境施設組合議会報告

組合議員 岡本 ひとし

第3回臨時会 開催日 5月22日

能勢町役場議場において臨時会が開催され、以下の議案について審議し、いずれも原案どおり可決承認されました。

・議長選挙 岡本 ひとし

議案

・廃棄物の処理等に関する地域環境対策基金条例の制定

・和解について

茨城県稲敷市内に所在する民間研究所において処分した焼却灰等の処分費用（28万8000円）負担等に関する和解

・訴訟の提起について

株式会社環境テクノロジーに対し、不当利得金（9650万円）及び遅延損害金の支払判決を求める訴訟

・平成29年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算（第1号）

弁護士着手金、基金積立金等 1013万2千円

・豊能郡環境施設組合公平委員会委員の選任につき同意を求める

竹腰 守也氏

・豊能郡環境施設組合監査委員の選任につき同意を求める

橋本 謙司氏

・高濃度汚染物質処理調査特別委員会委員の選任

中西 顕治

西河 巧

大西 則宏

岐阜県恵那市議会から視察

平成29年7月6日（木）10時より

岐阜県恵那市議会10名（総務文教委員会）が行政視察に来られました。

視察内容 「能勢ささゆり学園」小中連携校について

質問事項 学力向上の効果、開校後のメリットや成果、課題など事前に13件の質問があり、教育委員会学校教育課指導担当課長より回答をさせていただきました。

その後、質疑応答、意見交換を行いました。

学校見学 授業風景、教室やランチルームなど校舎を熱心に見学されました。

* 能勢町議会は、視察に来られた恵那市議会をはじめ、全国の市町村議会とも連携、協力を強化し、さらに調査研究を進め、本町の課題、解決に向け取り組んでまいります。

《恵那市の概要》

岐阜県南東部に位置し、愛知県と長野県に隣接した山紫水明の自然豊かな地域

人口51000人 面積500km² 市の花「ささゆり」

大井ダムと恵那峡周辺は県立自然公園に指定されている。ダムが多い市として知られている。

能勢町と環境的にもよく似ており、人口も面積も約5倍



小型ポンプ操法大会に向けて練習に汗を流す 能勢町消防団下田班の皆さん

練習を重ねるごとに動きがまとまり、班員の気迫が伝わってきます。地域防災の最前線を担う消防団の熱意を感じ取ることができます。



議会より激励にお伺いしました。一心に訓練される姿から地域防災に対する熱意がほとばしり、改めて能勢町消防団の存在価値を痛感しました。

表紙のこぼれ

伝統芸能である「能勢の浄瑠璃」は次世代の子供たちに継承してもらいたい大切な文化であることから、平成4年からワークショップ「語り」を、平成7年には、「三味線」を開始しました。平成20年には、「人形遣い・囃子」も始まり、能勢ごども浄瑠璃にも四業がそろいました。

スポーツや勉強など忙しい子供たちではありませんが、そんな中でも古典の世界で頑張っています。そして毎年6月の「鹿角座公演」では、各自役割をこなし、お客様からたくさんの方の声援を受けています。

芸を習得するだけではなく、行儀作法や集中力も身につけ、世代を超えたコミュニケーションの中、多くのことを学ぶ機会ともなっています。

将来この子供たちが能勢の伝統芸能を担ってくれることを願っています。

編集後記

今回、新広報特別委員会メンバーで、いちから議会だよりの編集に携わりました。

大変なところもありましたが、やりわたりやすい「議会だよりの」をめざして取り組みました。議会を身近に感じていただくために、引き続き努めてまいります。

ぜひ皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

広報特別委員会

委員長	森田 則子
副委員長	伊木真由子
委員	奥 久明
	長尾 義信
	中西 顕治

お気軽にみなさんのご意見
ご感想を、お寄せください。

電話 七三四一〇一五一
FAX 七三四一四六〇
『広報特別委員会』

までお願いします。

発行／能勢町議会

発行責任者／中植 昭彦 編集／広報特別委員会 発行日／平成29年8月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL (072)734-0151 FAX (072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>